

地域連携パスの運用を開始しました

クリニカルパスをご存知ですか？

「クリニカルパス」とは患者さんの入院から退院までの間の治療計画の内容を記したものです。手術や検査の予定から、食事や入浴の開始日等を記載しています。

クリニカルパスの対象となる患者さんには、入院した際に医師や看護師が、この診療計画に基づいて説明し、患者さんにお渡します。クリニカルパスを活用することによって、患者さんはいつでも自分の診療計画が確認でき、積極的に治療に取り組むことができます。今では多くの病院がこのパスを導入しています。

では地域連携パスって何？

「地域連携パス」とは、病院内で活用していたクリニカルパスの範囲を地域の病院等に拡大させたものです。

例えば、当院での治療だけでは在宅生活を送るには不十分な場合、リハビリなどのために専門病院等に転院が必要になります。そこで地域連携パスを活用することによって、転院先でも継続して計画的な治療を続けることができます。

安心して地域での生活に戻れるようになるためのものとして、地域連携パスが注目されています。

大腿骨頸部骨折の患者さんを対象に昨年10月1日からこの「**地域連携パス**」の運用をいち早く導入することができました。

当院で手術を受けた後、一定の段階まで回復すると、より充実したリハビリテーション設備を持つ病院へ転院し、早期に社会復帰できるようにリハビリを行います。今回、当院と連携を図っていただいたリハビリ病院は、①新天本病院 ②多摩丘陵病院 ③永生病院 の3つの医療機関です。

今後、地域連携パスの対象疾患を増やし、さまざまな施設と専門家が連携して、生涯にわたって地域の中で暮らしていけるよう取り組んでいく予定です。

<地域連携パスの流れ>

